

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2022年度第5回理事会議事録

1. 日 時 : 2022年12月17日(土) 10:00~12:30

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 出席者 10名

大橋健、水野勝教、今井俊二、野村泰朗、中島晃芳、島谷太、
森重智年、松山森仁、政岡恵太郎、田中宏明(監事)

欠席者 1名

勝村航太

(2) 理事以外出席者 3名

前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. 2023年名古屋大会について

- ・会場レイアウトについて
- ・チーム数について
- ・参加費について
- ・エントリー開始時期について
- ・海外チームへの案内について
- ・リチウム系充電電池について

2. 2024年大会について

3. 理事改選について

4. その他

5. 議事録署名人の選定

5. 資 料

資料1. リチウムイオン二次電池についてメモ

資料2. 参考レイアウト案

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2023年名古屋大会について

①会場レイアウトについて、水野専務理事より11月開催の実行委員会以降、レイアウト案の変更はなく、チーム数の減少に応じて机や椅子の配置に多少の調整は入るが、大きな位置関係の変更はないのではないか。総会の開催会場については、予算の関係上広い部屋を借りることは出来ないが、密にならないようにするために、引き続き検討するとの説明がなされた。

・大橋代表理事より、交流会の開催見込について質問がなされた。これに対し水野専務理事より、実行委員会では議題にあがっていないが、飲食を伴い大人数で集まるというのは、3月にはまだ難しいのではないか。政府の基本方針に変更があれば、実施の可能性もあるのではとの意見がなされた。

②チーム数について、水野専務理事より、各リーグの担当理事に対し、大会開催計画案の想定参加チーム数通りで変更がないか確認がなされた。松山理事より、コート数に依存するが、案の通り110チームで調整中である。森重理事より、技術委員会と調整中ではあるがMazeのNL、WLとCoSpaceはチーム数を減らす予定である。中島理事より、計画案にはオンステージのサブカテゴリーの表記があるため修正を依頼中であるが、チーム数に問題はないとの回答がなされた。

③参加費について、水野専務理事より例年通りエントリー費は一人15,000円、メンターは2,000円円で変更が無い旨確認がなされ、同伴者の対応について意見を求めた。松山理事より、一般来場者と同伴者の違いは、同伴者は選手及びメンターと同じ時間に入場ができるメリットがあるだけかと

の確認がなされ、これに対し水野専務理事より、その通りであるとの回答がなされた。中島理事より、オンステージでは荷物が多いため、メンターと同時間に会場入りしたいとの要望がある。メンター同様にエントリーや名札の準備をするのであれば、これまで通り同伴者エントリー費の徴収は必要ではないか。また、一方でエントリー業務や受付の手間が増えることが懸念される。前回大会では、同意書の重複や持参していない等の問題があった。水野専務理事より、前回大会同様に全入場者の把握が必要であれば、受付作業は大変になると思われる。RCJJは登録した競技者、メンター、スタッフ、同伴者の受付までを確認するが、それ以外の来場者については名古屋市側の担当になるのではないかと。会場の開催運営規程に基づき、昨年と同様に来場者の連絡先を把握する必要があるとの意見がなされた。

・大橋代表理事より、同伴者が子供だった場合も、連絡先の把握は必要であり、名札を準備する等の事務作業は必要であるが、エントリー費を徴収する必要はあるかどうか意見を求めた。これに対し、前田専務理事より、名札を付けることも出来ない乳児に対し、登録料を徴収するのはいかがなものかとの意見がなされた。今井理事より、前回大会のエントリーフォームには、同伴者は18歳以下か否かを質問する項目があり、18歳以下の同伴者は無料となっているとの説明がなされた。水野専務理事より、前回同様に同伴者登録料は2,000円とし、18歳以下は登録したうえで無料とするとの提案がなされ、全員一致で承認がなされた。

・今井理事より、前回大会では同意書の確認作業に多くの時間を費やしたため、今大会は2019年の和歌山大会での方法に戻し、競技参加者の代表がチーム、メンター、同伴者全員分の同意書を受付に持参し、事前エントリーした内容と照合する方法に戻すとの報告がなされた。

④エントリー開始時期について、水野専務理事より意見を求めた。中島理事より、12月31日が締め切りの大会アンケートに未回答のブロックが多数あるとの意見がなされた。水野専務理事より、アンケートを締めた後、1月中に技術委員で分配を決定できれば、2月初旬にエントリー開始、2月末で締めることができるとの意見がなされた。

⑤海外チームについて、野村理事より受け入れチーム数について確認がなされ、現在までに1～2チームからの問合せがあり、申込期限は12月31日まで、決定通知は1月10日で正式に告知する予定であるとの報告がなされた。

⑥リチウム系イオン電池について、松山理事より、資料1に基づきサッカー技術委員会で資料を修正中であるが、昨年のもをベースにし大きな方針変更はなく、誤解をまねく表現方法等を見直しているとの報告がなされた。

⑦大橋代表理事より、プレゼン用ポスターについて、意見を求めた。松山理事より、例年通りポスターはPDFで提出、当日は全てのポスターを張る壁がないため、机の上にポスターを並べる予定であるとの説明がなされた。中島理事より、事前にPDFでポスターが提出されるのであれば、大会までに審査を行い、当日には受賞ポスターとして展示すれば他のチームの参考になるのではとの意見がなされた。水野専務理事より、エントリー期間内にポスターが提出されれば、各技術委員がポスターを審査する十分な期間があるのではないかと。これに対し今井理事より、ポスター提出にはチーム番号が必要であり、チーム番号は入金確認後に割り振られるため、提出は2月末以降になるチームもあるとの意見がなされた。大橋代表理事より、2月末以降の提出であっても、大会開催までには審査を完了することは可能ではないかと。当日のインタビュー内容も加味して審査するのであれば、ノミネート作品として展示することも可能ではないかと。水野専務理事より、すべてのポスターを展示するスペースは無いが、ノミネート作品であれば展示スペースを確保することは可能ではないかと。森重理事より、ノミネートまでは各技術委員が審査した場合、ベストプレゼン賞を決定するのは技術委員会か理事会のどちらかとの問いがなされた。水野専務理事より、ノミネートおよびベストプレゼンテーションの選定までを技術委員が行い、理事会で最終決定をしてはどうかとの意見がなされた。

・中島理事より、関東ブロック大会では参加者投票を実施しており、本大会でも導入してはどうかとの意見がなされた。水野専務理事より、名古屋大会ではスペースの関係上、すべてのポスターを展示することができないため、投票を実施することは難しいのではとの意見がなされた。

⑧サッカーコートの改修費用について、島谷理事より意見を求めた。中島理事は、大会予算が無い場合参加チーム数を削減すれば、収入も減少するため、現行のチーム数削減は大会運営にとって不利益ではないかと。その減収分をRCJJが補填するのはどうかと思う。これに対し水野専務理事は、大会支援金は一定額のため、参加人数が上下しても大会運営費には直接の影響はないとの説明がなされた。島谷理事より、コートの改修費は大会予算と分けて考えてはどうか。未来への投資として考え、RCJJの予算から負担してはどうかとの意見がなされた。水野専務理事より、これまでは大会運営費から改修費用を負担していたが、ルールが改訂される度に改修が必要となると、その費用を

大会運営費から捻出するのは難しいのではないかと。例えば、RCJJの年間予算として組み込み、必要な場合はそこから支出すればいいのではないかと意見がなされた。大橋代表理事より、名古屋市
の予算は3年前に決定しており、今から増額することは出来ない。2024年に開催して頂く都市には、
運営費の予算増額をお願いしたい。大橋代表理事より、今回のサッカーフィールドの改修費につ
いては、RCJJの負担として支払提案がなされ、満場一致で承認がなされた。島谷理事より、次回予算
案提出の際には、新たな予算項目を追加し、また、今後も順調な参加人数を確保したうえで、黒字
部分はロボカッパーに還元できるような仕組みを検討したいとの意見がなされた。

⑨松山理事より、名古屋市の新型コロナ対策費の中に、各リーグから要望している除菌グッズ類
は含まれているかとの問いに対し、水野専務理事より確認するとの回答がなされた。

⑩今井理事より、世界大会の渡航費補助について、公式ホームページに明記していいかとの問い
がなされた。

(3) 2024年大会について

①前田事務局長より、2023年度の内容を踏まえ、2024年大会の詳細については、再度見直しをし
たいとの説明がなされた。

(4) 理事改選について

①事務局より、理事改選のお知らせは公式ホームページに告知しており、理事立候補の条件は2
023年度正会員であることから、正会員の募集が始まる1月以降に理事の立候補があるとの報告がな
された。

(5) その他

①高橋前代表理事のフェロー授与について、水野専務理事より、前回大会では閉会式が行われな
かったため授与式ができなかったが、名古屋大会にて授与式を実施するとの説明がなされ、事務局
にてトロフィーの準備をすることとなった。

本日の議事録署名人として、水野勝教氏、及び島谷太氏にお願いすることとなった

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022年12月17日

議 長 大橋 健

議事録署名人 水野 勝教

同 島谷 太

